

党躍進へ熱気あふれる 演説会

安倍政権の暴走を告発

北海道北見 市田副委員長

北海道の日本共産党北見地区委員会は9日、市田忠義副委員長を迎えて、北見市で演説会を開きました。氷

政治を告発。「これは強さではなく、行き詰まりの表れだ」と言う

最後に、演説会を前に、党の先輩、宮本顕治が収監されていた網走刑務所を訪ねたこと

点下20度と今年最低になる中、聴衆が駆け付けて会場を埋め、熱気があふれました。

安倍政権を倒したい願いは実現できるかと問いかけて、「答えはきわめて簡単。選挙で勝

時代に侵略戦争反対、主権は国民にあると命がけでたたかった党の値打ちを語り、「激動の時代に未来を切り開く党の一員」と

市田氏は、あらゆる面で大破綻した安倍政権が外国人労働者の使い捨てを拡大する入管法や、浜を企業の食い物にする漁業法改悪を一気に押し通した暴走

ではない」と強調。忘れたくない、諦めない、連帯を合言葉に、暴走の先導役の道政の転換と

心から呼びかけました。 市田和也前衆院議員（参院道選挙区候補）は、震災に便乗し路線

させようと訴えました。

切り捨てる狙うJR北海道を批判。「寄り添

ってこそ日本共産党。党の躍進へ全力を挙げると表明しました。50代の女性は「市田さんの話に元気づけられ、確信が持てました」と語り、市内の女性分かりました」と笑顔で話しました。



市田氏の訴えを聞く聴衆。9日、北海道北見市